

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立東岡山工業高等学校		
実践者等		由本 拓司	実践日	令和4年9月20日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		英語Ⅱ (シンガポールでの垂直農業)		
対象生徒 (学年等)		機械科2年A組		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化 ☐ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用 ☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化 ☐ その他 ()		
		家庭学習		
		☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) プロジェクタにオンラインタイマーを表示。英単語帳の単語テストを、隣同士で答え合わせ、全員起立して発音練習、ペアになって口頭で問題を出題させあう。 (2) プロジェクタに教科書画像を提示して、「シンガポールの垂直農場」の利点について班ごとに意見交換させ、黒板に班ごとの結論を書かせる。 (3) Chromebook で「ANNNEWS ハワイ」動画を視聴させ、クイズと感想をプリントに記入させることで最近の世界的物価上昇を理解させる。本時の目標「垂直農場の利点を2つ読み取る。」「日本の食糧事情を考える。」を示す。 (4) 本文の重要語句まとめプリントを配布して、教師と一緒に発音練習をする。その中から4つの絵を作画プリントに描き、4人に見せあわせて、当てあう。 (5) 本文プリントを配布して、教師と一緒に発音練習をする。次にペアを組んで発音練習。また本文プリントのクイズに答えさせる。 (6) 食料自給率についてスライドで説明する。シンガポールは約10%、日本は約38%である原因を考えさせ、周囲と相談させる。出てきた意見を板書していく。シーレーンの輸送が天変地異や戦争で問題が起きるリスクを紹介する。 (7) まとめと振り返りを行う。				
				
【本時と家庭学習との連動】 授業内で完結するようにしている。2コマで1つの単元を進めており、次回に続く。				